

森林の 管理

荒廃した防災林の効率的な 再生手法の開発

研究の背景・目的

森林は様々な役割を果たしていますが、防災的機能の発揮が特に求められる森林は「防災林」と呼ばれています（写真1）。近年、これら防災林では松くい虫や野生鳥獣による被害が深刻になっています。とくに、海岸部や急傾斜地といった自然災害が発生しやすい地域では、早急に防災林の再生を図る必要があります。

本研究では、効率的で確実な防災林の再生方法について研究します。



写真1 海岸部のクロマツ防風林

研究方法

防災林の再生が必要な地域のうち、とくに緊急性の高い海岸砂丘地と弥山山地の2地域に着目して研究します。

1) 海岸砂丘地

- ① 木製防風柵による海岸林の再生方法（写真2）
- ② 侵入植生を活用した植生回復方法（写真3）
- ③ 海岸クロマツ林の適正な密度管理方法

2) 弥山山地

- ① 弥山山地の植生の現況把握（写真4）
- ② 植生による土砂流出量の違いの把握
- ③ シカの忌避樹木による植生回復



写真2 海岸砂丘地の防風木柵



写真3 松くい虫被害跡地に侵入したマサキ



写真4 下層植生がシカの食害を受けた森林

研究成果の活用・今後の研究計画

この研究によって、効率的に防災林を再生することが可能になります。このため、より速く、より確実に防災林を再生することができるようになります。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 森林保護育成科

研究担当者 : 三島 貴志 (みしま たかし)
林 晋平 (はやし しんぺい)

問い合わせ先 : 0854-76-3820

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 荒廃した防災林の効率的な再生手法の開発 (研究期間 : H24~26)

